

令和元年度

下川町教育の概要

下川町教育委員会

下川町民憲章

わたくしたちは、さく北の雄大な自然の中に生きる下川町民です。未来に希望をもち、農・林・鉱の資源を活用して、よりよい下川をつくることに努めましょう。

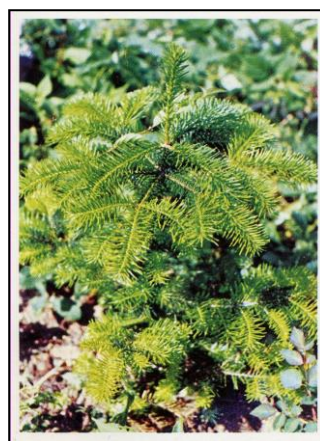
1. 心も、からだもすこやかに、あたたかい家庭をつくりましょう。
1. よい環境をつくり、青少年のつよく正しく育つまちにしましょう。
1. 自然を愛し、美しいまちづくりに努めましょう。
1. きまりを守り、みんな仲よく助け合い、明るいまちをつくりましょう。
1. 町の歴史を大切にし、文化の高い歴史をきずきましよう。

(昭和41年10月1日制定)



町花 (エゾリンドウ)

昭和52年12月23日制定



町木 (トドマツ)

昭和52年12月23日制定

下川町教育是

1. 北方生活に適応する、健康で明朗な町民
2. 正義を愛し、敬虔で、豊かな情操をもつ町民
3. 勤労を尊び、科学的に生活を高める町民
4. 知性に富み、北方生活文化の向上を図る町民
5. 責任を重んじ、協調心強く、郷土愛に燃える町民

目 次

1	平成31年度教育行政執行方針	1
2	下川町教育委員会事務局の機構と職員配置図	7
3	第2期下川町総合教育大綱（下川町教育推進計画）	
	（1）全体構造図	8
	（2）計画の体系図	9
4	学校教育 下川町学校教育のあらまし	
	（1）下川小学校	
	①学校経営	10
	②校務運営組織	12
	（2）下川中学校	
	①学校経営	13
	②校務運営組織	15
	（3）教育関係委員等の状況	
	①下川町教育委員会	17
	②下川町教育支援委員会	17
	③下川町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	17
	④下川町学校運営協議会	18
	⑤下川町いじめ問題対策連絡協議会	18
	⑥下川町いじめ問題対策専門委員会	18
5	社会教育	
	（1）令和元年度社会教育事業計画	
	Ⅰ生涯学習	19
	Ⅱ生涯スポーツ	22
	Ⅲ芸術文化	23
	（2）令和元年度下川町公民館運営方針	25
	（3）社会教育関係各種委員の状況	
	①下川町社会教育委員及び下川町公民館運営審議会委員	26
	②下川町スポーツ推進委員	26
	③下川町文化財保護審議会委員	26
	④下川町視聴覚ライブラリー委員	26
	（4）令和元年度社会教育関係団体の状況	
	①各種団体連合会等	27
	②その他社会教育関係団体	30

(5) 下川町の文化財	3 1
(6) 下川町社会教育関係表彰状況	
①旧表彰規則による表彰者	3 3
②下川町文化賞	3 3
③下川町特別町民栄誉賞	3 3
④下川町町民栄誉賞	3 3
⑤下川町特別スポーツ功労賞	3 4
⑥下川町スポーツ功労賞	3 4
⑦下川町特別スポーツ栄誉賞	3 4
⑧下川町スポーツ栄誉賞	3 4
⑨下川町スポーツ貢献賞	3 5
⑩下川町文化奨励賞	3 5
⑪下川町スポーツ奨励賞	3 5

1 平成31年度 教育行政執行方針

平成31年第1回下川町議会定例会の開会にあたり、教育行政執行方針を申し上げ、議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

今日、少子高齢化や人口減少、グローバル化の進展及び高度情報化の進展など社会が大きく変化する中で、本町が目指す「2030年における下川町のありたい姿」を実現していくために、「すべての町民に学習（スポーツ・文化を含む）する機会を提供し、特に未来を担う児童生徒には、包摂的かつ公平な質の高い教育の提供を目指す」を基本目標に、ESD「持続可能な開発のための教育」を推進し、持続可能な社会づくりの担い手を育む必要があります。

下川町教育委員会では、ふるさと下川に誇りを持ち、お互いに支え合いながら、生涯にわたって生き抜く力を身に付けることができるように、第2期下川町総合教育大綱（下川町教育推進計画）に基づき、学校、家庭及び地域が連携して教育力の向上を図り、全ての児童生徒の個性や可能性を最大限に伸ばし、子どもたちが夢と希望を持ち、これからの時代を生き抜くための確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成に努めて参ります。

また、身近な自然環境や歴史・伝統文化に触れる機会を通して特色ある教育活動を推進し、系統的に体験活動の充実を図りながら、ふるさと下川への愛着と誇りを育んで参ります。

また、発達段階に応じた教育の中で、確かな学力の育成を図るとともに、基本的な生活習慣・読書活動・社会性の習得など、豊かな心と健やかな体の育成をはじめ、教育環境の充実、家庭の教育力を高めることに努めて参ります。

このようなことから、「下川町総合教育大綱」の基本目標であります「個性・可能性・魅力を伸ばす人づくり」の実現に向け、教育行政を推進して参ります。

はじめに、小中学校教育の充実について申し上げます。

子ども達が、これからの時代を生き抜く力を身に付けるため、新学習指導要領の基本理念であります「社会に開かれた教育課程」を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善を進めるとともに、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を社会と共有し、必要な教育内容をどのように学び、ど

のような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働により実現していく必要性が求められています。

また、子どもたちの、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和のとれた教育の推進が重要であります。

このことから、全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動、運動習慣等調査の分析結果を踏まえ、創意ある教育課程の編成や、指導方法の工夫・改善などを進め、児童生徒の学ぶ意欲を高める教育活動を推進して参ります。

保護者の皆様には、「子どもを育て、包み、伸ばす親の総合力」いわゆる「親力」の発揮と、子どもに家庭学習や生活習慣を身につけることにご協力いただき、確かな学力の向上に努めて参ります。

特に、デジタルメディアへの過剰、及び不適切な接触については、学校における情報モラル教育の一層の充実を図るほか、保護者に対する啓発や、インターネットの安全・安心な利用に向けた家庭でのルールづくりなどを推進します。

また、地域の未来を担う人材の育成の観点から、地域や地元企業等との連携協力のもと、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を育むため、キャリア教育の一層の充実を図って参ります。

児童生徒の発達段階に応じた学習環境につきましては、ICTの活用を推進し、効果的な学習環境を整備するとともに、新学習指導要領に掲げる、外国語教育の充実のため語学指導助手による高学年外国語及び中学年外国語活動の学習や国際理解教育の充実を図り、低学年から学習する習慣を身に付けるため、ウィークエンドスクールにおいて、家庭学習の充実による学力向上に努めて参ります。

また、児童生徒がお互いの考えや気持ちを認め合い、思いや考えを適切に表現することができるよう、各教科におけるディスカッション等による効果的な指導助言を行い、コミュニケーション能力の育成を図って参ります。

特別支援教育につきましては、共生社会の形成に向けて、すべての児童生徒が共に学ぶインクルーシブ教育の理念を踏まえ、特別な支援を必要とする子どもたちに、切れ目のない一貫した教育が行われるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図り、相談員による学習面や生活面に配慮が必要な児童生徒の実態把握と、就学前からの教育相談及び就学後の一貫した教育支援を行うため、必要に応じて、外部の専門家による指導助言を受けるとともに、小中学校に支援員を配

置し、発達の遅れなどが見受けられる児童生徒の学校生活を支援して参ります。

地域とともにある学校づくりのため、コミュニティスクール(学校運営協議会)の中で児童生徒の実態及び課題を共通認識したところであり、これらの課題解決のため学校運営協議会が主体となり地域や保護者に参画・協力いただけるよう事業の展開を考えております。

小中連携、一貫教育につきましては、義務教育の9年間の系統的・継続的な教育を行うため、先進地の調査研究や将来的な児童生徒数推移を踏まえ検討を進めるとともに、小中連携による学校運営をより推進して参ります。

豊かな人間性を育む上で道德教育の果たす役割はきわめて大きく、特に道德の教科化により、よりよく生きるための道德性を養う「考え、議論する道德」の実現に向け、指導方法の工夫改善や指導体制の確立を図るための支援をして参ります。

また、生命尊重や感謝・親切、公正・公平など、自他を尊重する思いやりの心を育成するため、学校教育活動全体を通じた人権教育の充実が図られるよう支援します。

子どもたちが連帯と共生の豊かな心を持ち、活力あふれる人間に成長するため、森林とのふれあいや林業体験などを通して学習する森林環境教育を行います。

また、健やかな体づくりのための保健指導及び保健管理の充実に努めるとともに、食に関する正しい知識と地産地消や望ましい食習慣の定着を図る食育の充実等の健康教育を推進して参ります。

いじめの対応については、子どもたち同士の望ましい人間関係を醸成する学校経営・学級運営を通して未然防止に取り組むとともに、各学校が実施する定期的な調査や教育相談の実施により早期発見に努め、いじめの疑いがある場合には、組織的かつ速やかに対応するよう、各学校等への指導を徹底して参ります。

また、不登校については、教職員と保護者が連携して、個別での学習・生活支援を行って参ります。

児童生徒の安全・安心の確保につきましては、交通安全教育や防犯教育による児童生徒の意識啓発に努めるとともに、通学路の安全点検を実施するなど、保護者や関係機関、団体との連携を図りながら、児童生徒の安全確保に万全を期して参ります。

子どもたちの体力向上に向けて、体育の授業改善や学校・家庭・地域・行政の連

携により、体力向上を推進して参ります。

次に、下川商業高等学校への支援について申し上げます。

近年、下川商業高等学校は、上川北学区の中学校卒業生の減少などにより、生徒確保が非常に厳しい状況である中、本年度は定員に対して4分の3を超える出願者数となっており、引き続き、「地域に開かれた魅力ある学校づくり」を進めるため、新商品開発や販売実習会などの実践的なキャリア教育、地域の特性を生かした特色ある教育活動、入学促進のための支援及び部活動育成の支援を行い、存続維持・発展に向けた振興策を進めて参ります。

次に、生涯学習の振興について申し上げます。

生涯を通じた学びの支援による人づくりと地域づくりのため、時代の変化や生活や就労等ための必要な学びを支援することで、仲間づくりや人づくりを推進し、生涯を通して学び続ける社会を構築し、現代的課題や多様化する社会に対応する学習機会の提供を図るとともに、学んだ成果を活かし認められる「豊かな人生」と「生きがいづくり」を創出することが重要であります。

そのため、生涯各期における学習活動の機会の提供と環境整備に努めるとともに、社会の変化に伴い、生涯学習に対する町民のニーズが多様化していることから、町民自らが自由に学習機会を選択できる生涯学習体制の充実を推進して参ります。

家庭教育では、子どもの健やかな成長に必要な正しい生活習慣を身につけるために、家庭の教育力向上が不可欠であることから、子どもの発達段階に応じた各種セミナー、ブックスタート及び体験講座などの学習機会を提供し、親子の絆を深める取り組みを実施して参ります。

児童室におきましては、親子が安全に安心してふれあえる場を提供するとともに、放課後児童の安全と居場所を確保して参ります。

青少年教育では、子どもたちの人格の基礎が作られる最も大事な時期であることから、学校・家庭・地域社会が連携を深め、良好な環境づくりを推進するとともに、キッズスクール等による各種体験活動を提供し、未来を担う青少年の育成に努めて参ります。

成人教育では、多様化する価値観の中で、趣味や生きがいを求めて多くのサークルや団体が活動しております。学びは個人の資質向上ばかりでなく、仲間づくり、

地域づくりに必要であることから、学習ニーズに対応した講座や現代的な課題に対応した講座等の学習機会を提供するとともに、マイプランマイスタディ事業による自主学習と仲間づくりを推進して参ります。

高齢者教育では、健康で生きがいのある充実した生活を送るために、各種交流会及び高齢者学級などにより学習と交流の機会を提供するとともに、高齢者が持つ知識、技能及び経験を活かし、生きがいのある生活を送られるよう努めて参ります。

図書室では、図書資料の充実を図るとともに、町民の読書を通じた主体的な学びや活動を支援し、町民に親しまれる図書室づくりを進めて参ります。

また、読み聞かせや読書イベントにより、子どもの読書活動を推進し、幼児が本に親しむきっかけを作り、子どもの表現力や創造力の醸成を図るとともに、親子のふれあいを推進して参ります。

次に、生涯スポーツの振興であります。

生活習慣の変化などによる精神的なストレス、体力及び運動能力の低下などから、心身の健康や体力づくりに関する意識が高まっております。

スポーツは、爽快感・達成感という精神的な充足や喜びをもたらすほか、健康の保持増進や体力向上を図る大きな役割を果たすことから、町民が気軽にスポーツに取り組んでいただけるように、年齢や体力にあった健康づくりにつながるスポーツ教室の開催などを進めて参ります。

競技スポーツにおいては、スポーツ協会加盟団体やスポーツ少年団に対し活動の支援を行うとともに、各種競技大会の開催など、競技力向上や仲間づくりの推進に努めて参ります。

また、各少年団等から全道・全国に出場する選手がいることから、スポーツ少年団活動に対する支援策として、少年団に対する活動費 助成、指導者等資格取得に対する助成、共通備品への助成、青少年の文化・スポーツ活動での全道全国大会参加への支援などを図り、保護者の負担軽減と青少年健全育成の推進及びスポーツ競技力の向上を目指します。

更に、全道・全国・世界大会に出場する選手を輩出することが、子どもたちのみならず町民に感動と勇気と可能性をもたらしております。

本町のスポーツ文化であるノルディックスキージャンプにおいては、幼小中高一

貫指導を継続して推進して参ります。

また、スポーツ施設においては、老朽化の進んだ施設や利用が少ない施設については、スポーツ協会、スポーツ少年団及びスポーツ愛好者等、広く町民の意見を把握し、今後の体育施設の整備等について検討を進めて参ります。

次に、芸術文化の振興であります。

町民の創造性や感性を育み、心豊かで活力ある社会を実現するためには、優れた芸術文化に接する機会の充実や活動の活性化を推進することが必要であり、その良さを実感できる質の高い芸術文化を提供するとともに、文化団体に対し支援して参ります。

文化財保護活用では、地域の歴史や伝統文化を後世に伝えるために、文化財の保存や活用に取り組むとともに、無形文化財である「上名寄郷土芸能」につきましては、積極的な伝承活動が行われており、今後も郷土芸能を永く後世に伝えるために支援するとともに、多くの町民が触れる機会の充実を図って参ります。

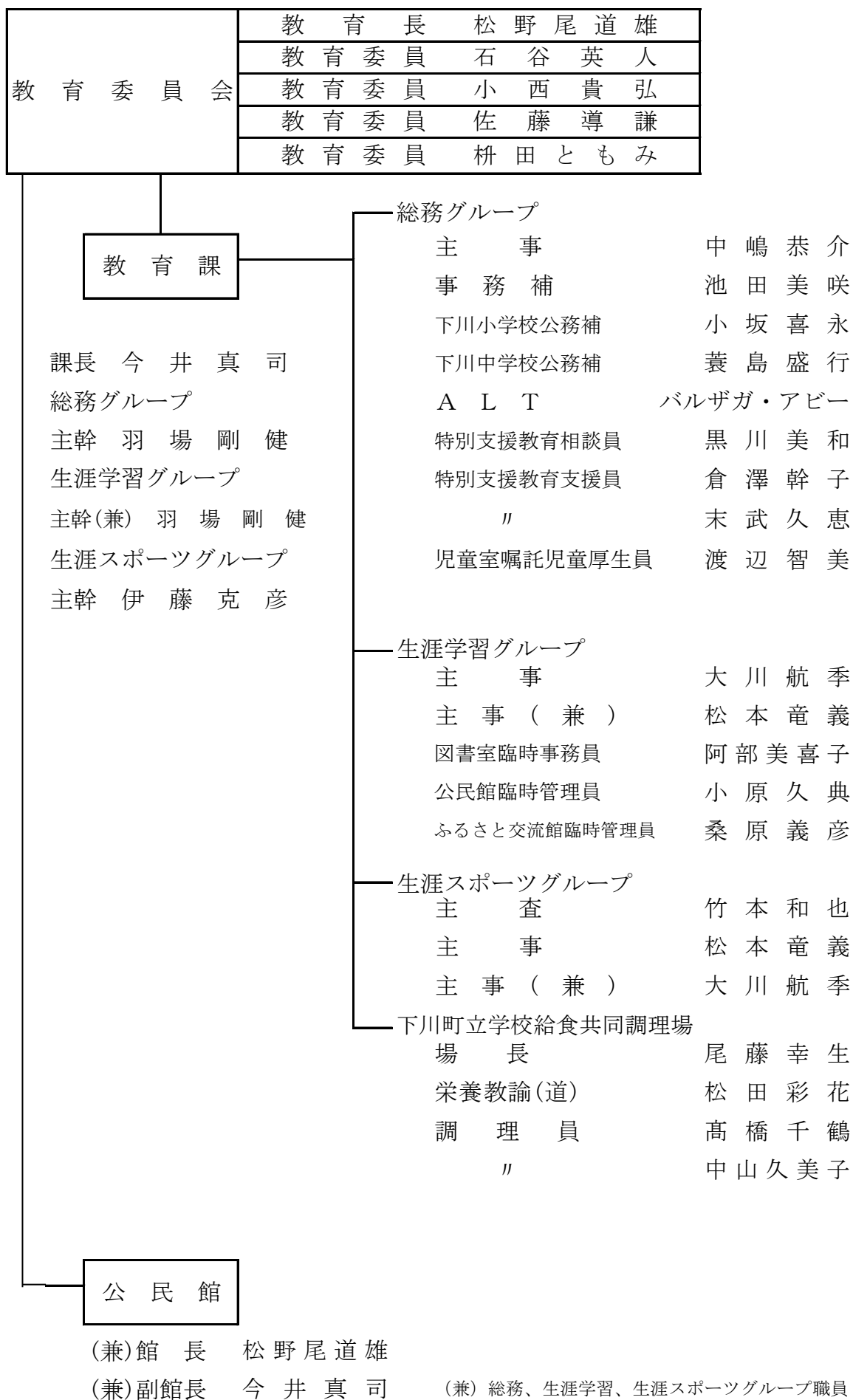
また、郷土資料保存施設(旧菱光小学校)等に保存してある資料について、引き続き調査整理を進め、今後の資料の保存・整理・活用等について検討して参ります。

以上、教育行政執行の概要を申し上げましたが、変化の激しい時代の中、こうした変化に対応するため、生涯を通して学び、考え、様々な困難を乗り越えながら、いくつになっても夢と志の実現のために 挑戦し、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりと幸福な人生を自ら創り出していくための支援をすることが教育の使命であります。

本年度から、第2期下川町総合教育大綱のスタートの年であり、これらの使命を果たすべく、学校・家庭・地域・行政の連携の下で、一丸となって本町教育行政の充実・発展に取り組んで参ります。

今後とも、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、下川町教育行政執行方針とさせていただきます。

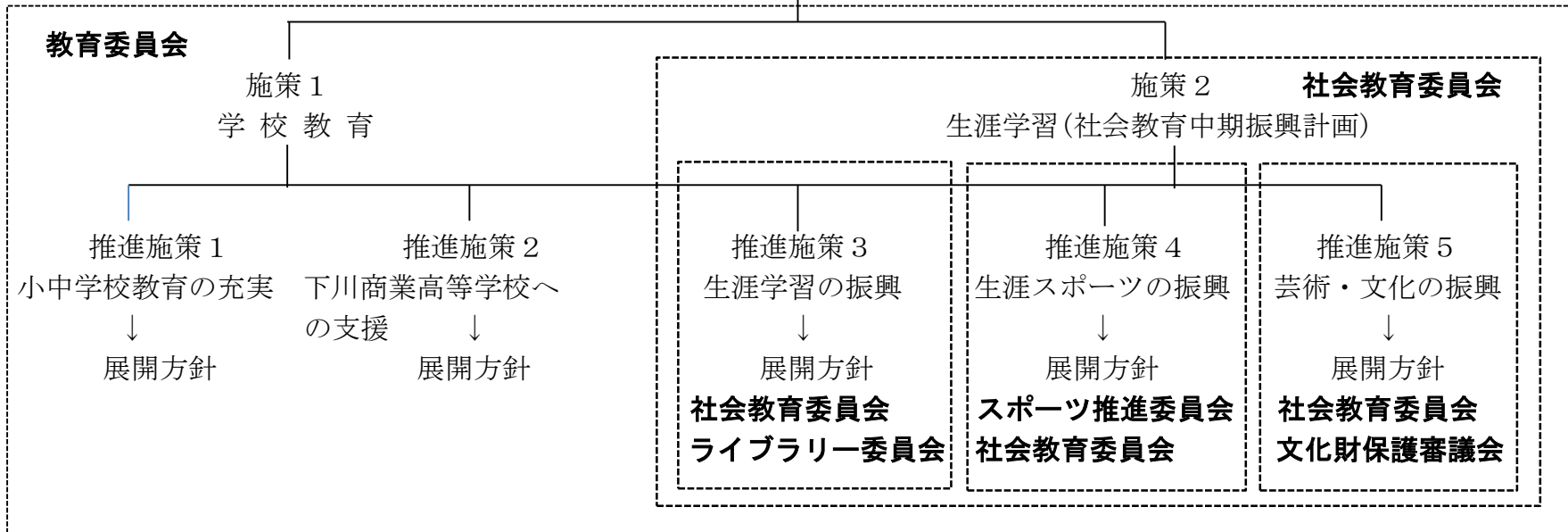
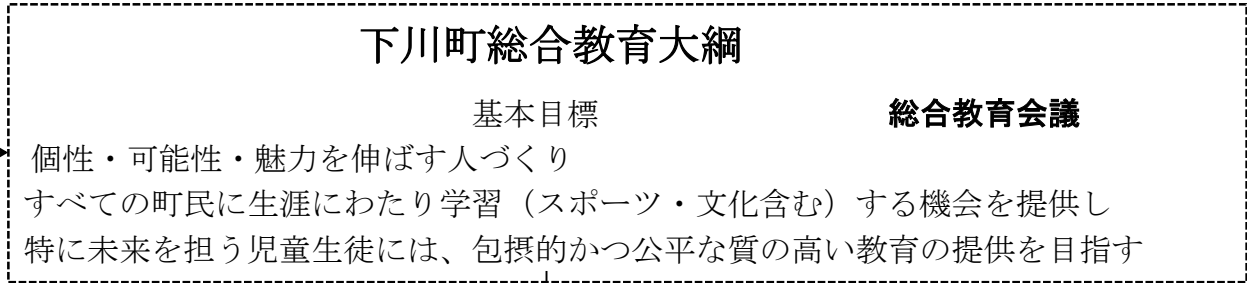
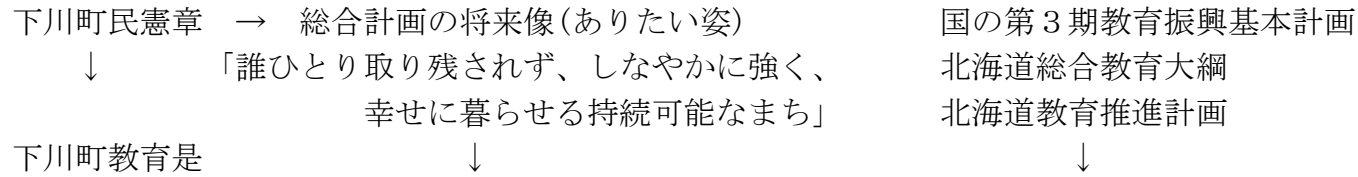
2 下川町教育委員会事務局の機構と職員配置図（令和元年7月1日現在）



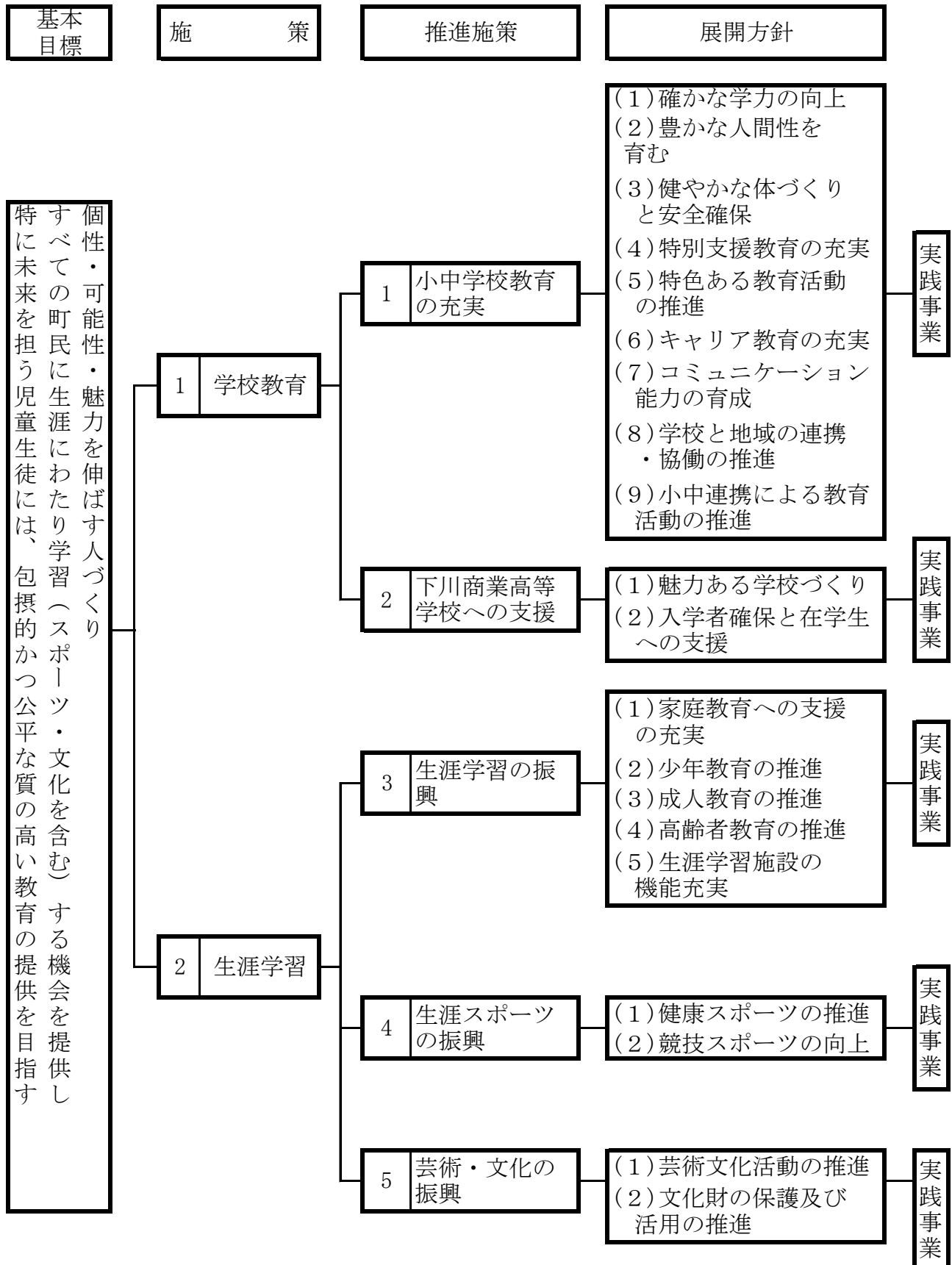
3 第2期下川町総合教育大綱（下川町教育推進計画）

(1) 全体構造図

下川町総合教育大綱全体構造図



(2) 計画の体系図



4 学校教育 下川町学校教育のあらまし

(1) 下川小学校 (下川町西町40番地)

① 学校経営

(R元. 5. 1現在)

校長	堀内 隆 功	児童数	学 年	1	2	3	4	5	6	特支	合計
教 頭	稲 本 雄 一		男	12	4	10	12	11	13	9	71
学級数	10 (うち、特支学級4)		女	12	7	11	8	13	8	4	63
			計	24	11	21	20	24	21	13	134
校 訓			学 校 及 び 児 童 の 実 態								
・明るい子ども (S48年制定) ・考える子ども ・がんばる子ども			本校は、市街地の西側に位置し、開校110年を迎えた歴史と伝統のある学校である。昭和47年に校舎建設後、平成6年度に大規模改修、平成25年度に内装木質化及び地域熱供給施設システム導入を行っている。普通学級6学級、特別支援学級4学級の編成で、クラス25名前後の教育環境にある小規模校である。児童は、理想的な学級人数構成と恵まれた学習環境や自然環境の中で笑顔に溢れ明るく生き生き生活しており、挨拶運動の先頭に立つ児童会役員やジャンプに果敢に挑戦する児童、森林の中で静かに考える児童など、笑顔の学習活動が学校生活に意欲と喜びを与えている。学力に関しては、学年差や個人差が大きく、更なる基礎学力の確実な定着が必要である。また、思考力・読解力などの一層の向上が求められている。								
学校の教育目標											
「今を確かに生き、未来にはばたく子どもを育てる」											
めざす学校像											
○学びがいのある学校【子ども】 ○頼りがいのある学校【保護者】 ○親しみのある学校【地域】 ○保護者や地域にとって、信頼のできる学校											
年 度 の 重 点											
ど の 子 に も 『 笑 顔 』 と 『 自 信 』 を !											
学 校 経 営 の 基 本 方 針											
「 共 に 知 恵 と 汗 と 」											
【子どもにとって】			「学びがいのある学校」～自らの成長を実感～								
【保護者にとって】			「頼りがいのある学校」～子どもの変容を実感～								
【地域にとって】			「親しみのある学校」～学校との結束を実感～								
【教師にとって】			「働きがいのある学校」～子どもの成長を実感～								

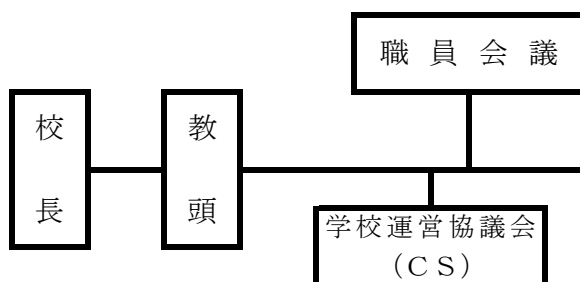
指 導 の 重 点	
各教科	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 確かな学力を身に付けさせる学習指導 ① 目標と指導内容及び評価の関連を明確にした指導計画の作成 ② 少人数指導や習熟の程度に応じた指導など個に応じた指導の工夫 ③ 学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な知識や技能を定着させる学習指導の工夫 ④ 思考力・判断力・表現力などを確実に育む学習指導の工夫 ⑤ 体験的な学習や問題解決的な学習の充実 ⑥ 自分の考えを適切に表現する言語活動の充実 ⑦ 意欲的な学習を促す自己評価や相互評価の工夫 ⑧ 授業改善による学習過程の工夫。ICTによる授業の工夫。習熟問題による内容理解の徹底。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ◎ よさを生かし、豊かな人間性と感性を育む道徳指導 ① 豊かな人間性と感性を育む指導計画及び指導体制の充実 ② 道徳的実践力を育成する指導の工夫 ③ 「道徳の時間」を要としながら、生活全体において道徳的実践力を高める指導の充実
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 個性を生かし、自主的・実践的な態度を育てる特別活動 ① 発達段階と活動内容の特性を生かし、育む資質や能力を明確にした年間指導計画の作成 ② よりよい社会を築こうとする態度を育てる指導と評価の工夫 ③ 自然体験や社会体験の充実
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 特色ある教育活動の展開を図る「総合的な学習の時間」 ① 三領域との関連を図った指導計画の改善充実 ② 主体的な学習を促す指導の充実 ③ 主体的な学びを促す評価の工夫 ④ 地域の資源の活用
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自らを律する心を育て、たくましく生きる力を育てる生徒指導 ① 校内体制の確立と関係機関との連携を図った指導の充実 ② 基本的生活習慣の定着 ③ 問題行動の早期発見と教育相談の充実 ④ いじめ、問題行動等を許さない正しい行動をとる態度の育成
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ◎ よりよい生き方を目指すキャリア教育（自己肯定感の高揚） ① 全教育活動を見通した全体計画と発達段階を踏まえた指導計画に基づいた指導の推進 ② 将来への夢や希望を育み、肯定的自己理解を深め、生き方を考えさせるキャリア教育の推進 ③ 勤労を重んじ、努力する態度を育む指導体制の構築
体育・健康	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 命の尊さと健康な生活の大切さを自覚する健康教育 ① 健康教育の全体計画や年間指導計画の作成 ② 関係機関との連携と安全対応能力を身に付けさせる指導の充実 ③ 運動に親しむ能力や態度の育成 ④ 健康や食に関する指導と健康を維持管理できる資質や能力を身に付けさせる指導の充実
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 一人ひとりの自立と社会参加を促す特別支援教育 ① 個に応じたきめ細やかな指導と個別の指導計画と支援計画の作成 ② 校内の支援体制作り ③ 交流および協働学習の推進と障がいの状況や発達の程度に応じた指導の工夫 ④ 一人一人のよさや育ちの的確な把握と、指導に生かす評価の工夫
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 人権尊重の精神を養う人権教育の充実 ① 基本的な人権尊重の精神の徹底といじめ、不登校等防止の取組、体罰禁止の徹底 ② 指導体制の確立と関係機関との連携強化 ③ 教科、道徳、特活等との横断的、総合的な指導

② 校務運営組織

校 長 堀 内 隆 功
 教 頭 稲 本 雄 一
 教 務 主 任 川 邊 宏 司
 保 健 主 事 亀 井 祐 介
 生 徒 指 導 部 長 大 西 克 典

研 修 部 長 松 尾 裕 之
 保 健 体 育 部 長 亀 井 祐 介
 事 務 部 伊 藤 敏 光
 公 務 補 小 坂 喜 永

○校務分掌及び担当



特別委員会	
学校運営委員会	
プロジェクト委員会	
学びプロジェクト	
心プロジェクト	
体プロジェクト	
教育課程編成委員会	
支援委員会	
研究推進委員会	
生徒指導対策委員会	
防災対策委員会	
<関係機関と連携する特別委員会>	
いじめ防止等対策委員会	
教育支援委員会	
学校保健委員会	
<推進教師>	
特別支援教育コーディネーター	～高橋亜紀子
道徳教育推進教師	～蔵本恵香
外国語・外国語活動推進教師	～佐竹秀平
初任者指導教師	～松尾裕之・川邊宏司
地域・学校間連携推進教師	～川邊宏司
C S 委員	～川邊宏司

分 掌	氏 名
教 務 部	○川邊宏司・蔵本恵香 ・高橋亜紀子・佐竹秀平
研 修 部	○松尾祐介・阪本駿太 ・久保田基文・平野朋佳
生徒指導部	○大西克典・中谷 愛・中嶋崇喜
保健体育部	○亀井祐介・正野祐介・若井 旭 ・服部沙保・松田彩花
事 務 部	○伊藤敏光

1 年 1 組	久 保 田 基 文
2 年 1 組	中 谷 愛
3 年 1 組	阪 本 駿 太
4 年 1 組	亀 井 祐 介
5 年 1 組	正 野 祐 介
6 年 1 組	佐 竹 秀 平
あすなろ (知的)	高 橋 亜 紀 子
たんぼぼ (言語)	中 嶋 崇 喜
ひまわり (病弱)	蔵 本 恵 香
りんどう (情緒)	大 西 克 典
教 務 主 任	川 邊 宏 司
特別支援フリー	平 野 朋 佳
特別支援(情緒)加配	若 井 旭
T T : 指導工夫改善	松 尾 裕 之
養 護 教 諭	服 部 沙 保
栄 養 教 諭	松 田 彩 花
特別支援教育相談員	黒 川 美 和
特別支援学級支援員	倉 澤 幹 子
特別支援学級支援員	末 武 久 恵
公 務 補	小 坂 喜 永
事 務 補 助	加 集 康 代

渉 外	P T A	事務局長：教頭 庶 務：川邊宏司 会 計：伊藤敏光
	町教研	会 長：校長 事務局長：教頭 学校代表：阪本駿太

(2) 下川中学校

(下川町南町417番地)

① 学校経営

(R元. 5. 1現在)

校長	藤 弘 のぞみ	生徒数	学 年	1	2	3	特支	合計
教 頭	堀 博 樹		男	12	13	14	4	43
学級数	5 (うち、特支学級 2)		女	13	14	14	0	41
			計	25	27	28	4	84

<p>校 訓 創 造 敬 愛 (S53年制定)</p> <p>学 校 の 教 育 目 標</p> <p>◆基本目標 豊かな知性を持ち たくましい意志で やり抜く生徒</p> <p>め ざ す 生 徒 像</p> <p>【知】 よく考え、正しく判断し、創 意工夫する生徒</p> <p>【情】 他人の立場を理解し、進んで 協力する心豊かな生徒</p> <p>【意】 自分の言動に責任を持ち、最 後までなすとげる生徒</p> <p>【体】 自他の生命を尊び、自らを鍛 える健康な生徒</p>	<p style="text-align: center;">学 校 及 び 生 徒 の 実 態</p> <p>本校は、商店街を中心とする町の南側に位置し、開校73周年を迎える歴史と伝統のある学校であり、卒業生も7,621名(平成30年度末現在)に上っている。昭和53年に町内4中学校統合を機に現在地に校舎建設後、平成12年度に大規模改修を行い、広く明るい学習空間と生活スペースの中で、教育活動が進められている。生徒は、明朗快活で活動的、何事にも興味関心が強く、日常の生活行動も安定した状況にある。しかし、小学校から続く人間関係の固定化やそれに伴う考え方や視野の狭さが感じられる。また、これまでの指導の経緯から、「基礎的、基本的内容の徹底と家庭学習の習慣化」「自己を理解しつつ相手の側に立って思いやる心」「将来を見通し、主体的にねばり強く努力する習慣」「視野の狭さを改善し、広い視野で社会を見つめる習慣」等、生徒個々の実態に即した指導が当面の課題である。</p>
---	--

年 度 の 重 点
<p>●重点目標 ～「自己を律し主体的に活動し 意欲的に学ぶ 心豊かな生徒の育成」</p> <p>1 自らの成長が実感でき、確実に学力が定着する学習指導 ○「個に応じた」「わかる・できるを実感する」授業の構築、学習機会の確保</p> <p>2 深く考え正しく判断し、認め合う意識を高める心の指導 ○他の立場を理解し場に応じた言動、責任感・自己有用感の育成</p> <p>3 家庭・地域・関係機関(他校種)と共に、四者一体なった連携指導 ○情報発信、学校公開、数値目標と結果の説明、小中連携</p>

教 育 の 基 本 方 針
<p>(1) 新学習指導要領を見据えた教育課程の見直し・改善</p> <p>(2) 課題の共有、組織的な改善、学校経営参画意識の高揚</p> <p>(3) 実効性のある学力向上策、研修活動⇒学力向上を通じた生徒の成長は、学校教職員の使命であるという強い責任感</p> <p>(4) 個に応じた指導⇒複数配置教科(数学・英語)における計画的な役割分担</p> <p>(5) 全領域を通じた「心を育てる教育」</p> <p>(6) 生徒・保護者・地域に開かれ、信頼される学校の推進⇒生徒の活動の積極的公開</p> <p>(7) 家庭生活改善の取組(学校運営協議会・P T Aとの連携、各種調査の分析・公開・改善)</p> <p>(8) 職員の規律とモラルの徹底(徹底した法令順守と危機管理意識の向上)</p> <p>(9) 安心・安全な学校づくりの推進⇒危機管理体制の徹底、巡視活動、安全点検</p> <p>(10) 学校財政の適正な運用・管理と教育環境整備(教室・掲示板・教材教具等)の推進</p>

指 導 の 重 点
<p>(1) 生きる力をはぐくむ教育課程の充実</p> <p>① 新学習指導要領を見据え、地域の特性・地域力を生かした教育課程の編成</p> <p>② 教育課程の確実な実施と授業時数の確保</p> <p>③ 体験活動を重視した教育活動</p> <p>(2) 確かな学力をはぐくむ学指指導の充実</p> <p>① 学力向上の中心的役割をはたす「学力向上委員会」</p> <p>② 学習規律の徹底(小中連携、全校統一した取組)</p> <p>③ 個に視点をあてた授業改善の計画的・組織的な取組 ア 習熟の程度に応じた指導の充実(少人数指導含む) イ 計画的なT T指導 ウ I C T活用</p> <p>④ 家庭学習の習慣化のための家庭との連携 ア 「家庭学習の手引」による学習方法の定着 イ 家庭学習ノート、計画的な教科プリントの取組による机に向かう習慣の定着</p> <p>⑤ 学習機会を広げる指導 ア 朝・放課後・長期休業中の学習会 イ 各種検定・作文・標語・絵画・書道等</p> <p>⑥ 朝読書の継続と内容の充実</p>

指 導 の 重 点

(3) 教職員一人一人の指導力向上を目指す校内研修の充実

- ① 新学習指導要領を意識した校内研修の充実（「主体的・対話的で深い学び」の構築）
- ② 「課題・見通し」「まとめ・振り返り」を配置した「わかる・できるを実感する」授業
- ③ 「知識・技能」の習得を図る段階と、対話を通して深化させる段階が意図的に計画されている単元構成の工夫
- ④ 小中高が連携した合同研修会・授業交流、参観日の相互授業参観、各種研究会参加による指導力の向上と授業改善

(4) 道徳的判断力・道徳的心情を基礎とした道徳的実践力の育成

- ① 道徳教育の全体計画・年間指導計画の点検、評価内容と評価方法の工夫
- ② 「考え、議論する道徳」に向けた授業改善（外部講師の導入、全校道徳の実施）
- ③ 道徳的判断力や心情を育てる授業に裏打ちされた道徳的実践力の育成と授業公開
- ④ 道徳教育推進教師を中心とした学年間の連携と指導体制

(5) 自発的な活動と社会性を育てる特別活動の充実

- ① 生徒の自主的な活動を中核に掲げた生徒会活動の一層の充実（いじめに対する取組、メディアに関する取組、学校生活・家庭生活を見つめ直す活動など）
- ② 基本的モラルや社会生活上のルール、マナーを尊重する態度の育成
- ③ ふさわしい言語活動（生徒会活動を中心に、ふさわしい言語と掲示の工夫）

(6) 自ら学び考える力を育てる総合的な学習の時間の充実

- ① ねらい・目標を明確にし、生徒の確かな変容をめざした活動の工夫
- ② 地域の教育力を取り入れた効果的な学習の充実
- ③ 生徒自らが課題意識を持ち、意欲的に取り組む態度の育成
- ④ 地域や関係機関と連携した「炭焼き」学習をベースにした森林環境教育
- ⑤ ESD教育（持続可能な開発のための教育）に向けた中学校段階での取組の模索

(7) 基本的な生活習慣の確立と規範意識を育てる生徒指導の充実

- ① 生徒一人一人へのきめ細かな観察と指導に向けた、組織的で多様な相談体制（教育・進路・教科相談）
- ② いじめ・不登校の早期対応（報告・保護者との連携）記録化の習慣
- ③ あいさつ、集会等の集団行動時の適切な指導（生徒を見つめる、生徒の模範となる）
- ④ 家庭訪問、参観日を通じた保護者との顔を付き合わせた情報交換
- ⑤ 過度のメディア利用（SNS、ゲーム機器、インターネット）等、生徒の家庭生活における課題に対する地域と連携した取組
- ⑥ 生活リズムチェックの取組から規則正しい生活へ向けた家庭との連携

(8) 望ましい勤労観や職業観を育てるキャリア教育の充実

- ① 全教職員の共通理解に基づく指導体制の確立
- ② 「職業体験学習」による職業観を育む教育
- ③ キャリア教育による生徒自身の未来像の構築と学習への動機付け

(9) 健康で安全な生活を営む能力と態度を育てる健康・安全教育の充実

- ① 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】の数値分析と改善策の実施・公表
- ② 薬物・食・性に関する保健指導・外部講師導入による健康意識・態度を育てる指導
- ③ 登下校時の安全指導による事故等の防止
- ④ 事故や災害遭遇時に適切な行動ができる「安全対応能力」、「自分の命は自分で守る力」を身につける指導

(10) 一人一人に応じた特別支援教育の充実

- ① 家庭との連携を通じた、個別の指導計画・支援計画に基づく一人一人に応じた指導、教育内容や指導方法の工夫
- ② 「支援委員会」と学年の連携、通常学級における要支援生徒への対応（情報の共有と組織的な対応）
- ③ 「校内支援プログラム」を活用した研修活動

(11) 情報発信（説明責任）・学校公開

- ① 生徒アンケート、保護者アンケート、教職員評価、学校運営協議会からの意見の公開
- ② 年2回の数値目標との比較結果・改善策の公表
- ③ 学校だより、学級通信、ホームページ、IP電話等での情報発信の充実
- ④ 保護者・地域住民への学校公開

(12) 小中連携の計画的な取組

- ① 小中連携に関わる組織づくり・推進計画に基づく実施（管理職連携会議→小中分掌長会議）
- ② 教務部：小中授業交流、教育課程、学力・体力・道徳
- ③ 生徒指導部：児童生徒事例交流、生徒指導交流（生活のきまり）
- ④ その他：学校保健、学校事務、学校図書等

(13) 地域の教育力を活かした学校づくりの推進

- ① 学校運営協議会の活用による、学校と地域の連携（メディア長時間利用への対策等）
- ② 地域人材活用
- ③ 地域事業所活用

② 校務運営組織

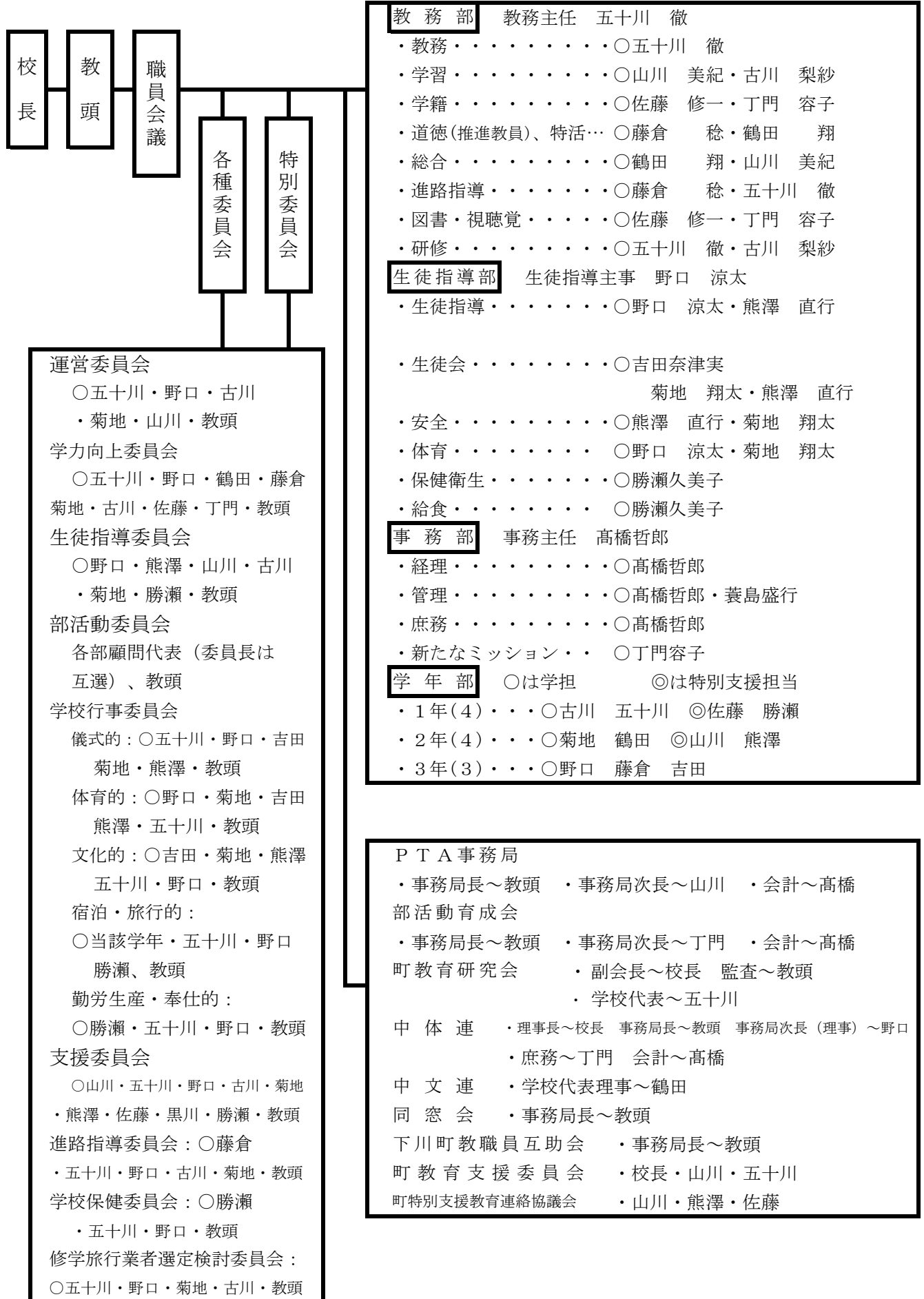
1) 職員構成

校 長	藤 弘 のぞみ	保 健 主 事	勝 瀬 久 美 子
教 頭	堀 博 樹	養 護 教 諭	勝 瀬 久 美 子
教 務 主 任	五 十 川 徹	事 務 職 員	高 橋 哲 郎
生 徒 指 導 主 事	野 口 涼 太	”	丁 門 容 子
進 路 指 導 主 事	藤 倉 稔	公 務 補	蓑 島 盛 行

2) 指導体制(◎は担任 ○は副担任並びに学年所属 ㊦は特担 特は特副)

	第1学年	第2学年	第3学年
国 語	鶴 田 翔	○鶴 田 翔	鶴 田 翔
社 会	○五 十 川 徹	五 十 川 徹	五 十 川 徹
数 学	藤 倉 稔	藤 倉 稔	○藤 倉 稔
理 科	菊 地 翔 太	◎菊 地 翔 太	菊 地 翔 太
音 楽	吉 田 奈 津 実	吉 田 奈 津 実	○吉 田 奈 津 実
美 術	吉 田 奈 津 実	吉 田 奈 津 実	○吉 田 奈 津 実
保 体	野 口 涼 太	野 口 涼 太	◎野 口 涼 太
技 術・家 庭	山 川 美 紀	山 川 美 紀	山 川 美 紀
英 語	◎古 川 梨 紗	古 川 梨 紗	佐 藤 修 一
特 別 支 援	㊦熊 澤 直 行 ㊦山 川 美 紀 特 佐 藤 修 一		
養 護 教 諭	勝 瀬 久 美 子		
相 談 員	黒 川 美 和		
A L T	バルザガ・アビー		

3) 各部分掌組織



(3) 教育関係委員等の状況

①下川町教育委員会

区 分	氏 名	任 期
教 育 長	松 野 尾 道 雄	H 30 . 7 . 1 ~ R 3 . 6 . 30
委 員	石 谷 英 人	H 28 . 10 . 1 ~ R 2 . 9 . 30
委 員	小 西 貴 弘	R 元 . 10 . 1 ~ R 5 . 9 . 30
委 員	佐 藤 導 謙	H 29 . 10 . 1 ~ R 3 . 9 . 30
委 員	枡 田 と も み	H 30 . 7 . 1 ~ R 4 . 9 . 30

②下川町教育支援委員会

区 分	氏 名	所 属
会 長	筒 淵 忠 雄	下川町民生委員児童委員協議会
副 会 長	堀 内 隆 功	下川小学校校長
委 員	藤 弘 の ぞ み	下川中学校校長
〃	川 邊 宏 司	下川小学校教諭
〃	高 橋 亜 希 子	〃
〃	山 川 美 紀	下川中学校教諭
〃	五 十 川 徹	〃
〃	桜 木 京 子	下川町民生員児童委員協議会主任児童委員
〃	古 屋 い づ み	幼児センター主幹
〃	蓑 島 美 奈 子	保健福祉課保健師

任 期 : H31. 4. 1 ~ R3. 3. 31

③下川町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

職 名	氏 名	所 属	担 当 学 校
学 校 医	片 野 英 俊	町立下川病院院長	下川小・下川中
〃	花 房 徹 兒	町立下川病院副院長	下川小・下川中
〃	丸 山 直 紀	町立下川病院副院長	下川小・下川中
学 校 歯 科 医	高 畠 操	下川歯科医院院長	下川小・下川中
学 校 薬 剤 師	佐 藤 恵	(有)ナカジマ薬局	下川小・下川中

任 期 : H31. 4. 1 ~ R2. 3. 31

④下川町学校運営協議会

区分	部 会	氏 名	所 属
副会長		梶 澤 俊 介	下川小学校PTA会長
	小学校部会	部 会 長 加 藤 哲 雄	元町公区長
		川 邊 宏 司	下川小学校教諭
		副部会長 南 澤 さ つ き	下川町社会教育委員
		水 間 秀 文	下川町民生委員児童委員協議会児童福祉部会長
		谷 博 之	下川建設協会会長
	中学校部会	部 会 長 奈 須 憲 一 郎	下川中学校PTA会長
		堺 修 一	末広公区長
		五 十 川 徹	下川中学校教諭
		副部会長 森 清 次	下川町社会教育委員
会 長		筒 渕 忠 雄	下川町民生委員児童委員協議会会長
		竹 内 徳 男	下川町商工会事務局長

任 期 : H31. 4. 1 ~ R3. 3. 31

⑤下川町いじめ問題対策連絡協議会

区 分	氏 名	所 属
会 長	谷 一 之	下川町長
職務代理	松 野 尾 道 雄	下川町教育委員会教育長
	堀 内 隆 功	下川小学校長
	藤 弘 の ぞ み	下川中学校長
	梶 澤 俊 介	下川小学校PTA会長
	奈 須 憲 一 郎	下川中学校PTA会長
	大 井 智	名寄警察署下川駐在所長
	武 藤 登	下川町交通安全防犯協会長
	三 賀 定 喜	名寄警察署少年補導員連絡会下川支部
	筒 渕 忠 雄	下川町民生委員児童委員協議会会長
	市 田 尚 之	保健福祉課長
	高 橋 祐 二	税務住民課長

任 期 : H31. 4. 1 ~ R3. 3. 31

⑥下川町いじめ問題対策専門委員会

区 分	氏 名	所 属
	未 定	旭川弁護士会
	野 口 剛 志	名寄市立総合病院心療内科・精神科 診療部長
	矢 口 明	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科 准教授
	佐 藤 喜 代 枝	カウセリングルーム ベア 室長

任 期 : H31. 4. 1 ~ R3. 3. 31

5 社会教育

- (1) 令和元年度社会教育事業計画及び公民館運営事業計画について
(公民館・青少年健全育成推進協議会・放課後子ども教室含む)

I 生涯学習

① 家庭教育

【推進目標】

○親子の絆を深め、子どもの健全な心と身体を育てる家庭教育の充実

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 ブックスタート	偶数月	総合福祉センター	公民館	年6回 6～7か月乳児相談時に実施
2 ブックスタート フォローアップ	4月、5月、 9月、11 月、1月	町民会館図書室	公民館	年5回 1歳6か月児・3歳児健診終了後に実施
3 親子対象公民館講座	未定	公民館等	公民館	
4 思春期講座	未定	中学校等	教育委員会 公民館 青推協	中学生対象
5 家庭教育セミナー	未定		教育委員会 公民館 青推協 幼児センター	
6 親子劇場	未定	児童室他	教育委員会 公民館 青推協	親子対象
7 下川町父母と先生の会連 合会	通年	小・中学校	教育委員会	2団体 活動支援
8 親子遊び	通年	町民会館児童室	教育委員会	就学前児童の親子遊びの場

② 少年教育

【推進目標】

○家庭・学校・地域社会が一体となり、子どもたちの健やかな心身の成長を図り、自らが未来に希望の持てる意欲に満ちた少年の育成

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 こどもブックフェスタ	5月20日 ～26日	町民会館図書室	公民館 キッズスクール	子ども図書コーナー設置・図書室お仕事体験、絵本読み聞かせ、おすすめ本コーナー
2 社会を明るくする運動提 灯行列パレード	7月13日	町内	下川町社会を 明るくする運 動実施委員会	参加協力（子ども会）
3 少年の主張 上川総合振 興局地区大会	7月17日	上川合同庁舎	上川総合振興 局・上川教育 局	中学生1名代表選出（参加後援：青推協）
4 夏の非行防止等チラシ配 布	7月下旬	全児童生徒配布 新聞折込	青推協	非行防止チラシ：新聞折込、小・中学校、下商高に配付
5 夏休みラジオ体操inしも かわ	7月26日～ 8月9日	安原公園	青推協	6:30のラジオ放送に合わせて実施
6 子ども自然体験事業	7月下旬		公民館 キッズスクール	野外体験活動
7 町内巡視	8月8日 8月24日	町内	青推協	下川神社祭 うどんまつり
8 ジュニアリーダーコース	8月中旬	大雪青少年交流 の家	北海道教育庁	
9 上川地区地域子ども会交 流会	11月23日	上富良野町	上子連	単位子ども会への募集

事業名		時期	場所	主催等	内容
10	青少年芸術劇場	9月9日 11月22日	小学校体育館 中学校体育館	教育委員会 教育研究会 青推協	小学校：オズの魔法使い 中学校：学校寄席
11	青少年非行防止標語募集	募集10月 表彰12月	公民館	青推協	小中学生、下商高校生対象
12	モミの木クリスマス会	12月14日	バスターミナル	下子連 地域学しもか わ学会	小中学生対象
13	北海道子ども会かるた大会 上川地区予選	1月下旬	名寄市	上子連	子ども会代表選抜
14	キッズスクール	通年	公民館等	教育委員会、 公民館、キッ ズスクール	小学生の体験活動等
15	放課後児童クラブ	通年	町民会館児童室	教育委員会	放課後児童の健全育成
16	青少年健全育成推進協議会	通年	町内	青推協	各種団体活動支援他
17	スポーツ少年団本部	通年	町内	スポーツ少年団本部	7団体 活動支援
18	子ども会育成連絡協議会	通年	町内	下子連	9団体 活動支援
19	「子ども110番の家」設置者見直し「非行防止マニュアル等作成」	通年	町内	青推協	
20	青色回転灯 自主パトロール	通年	町内	青推協 教育委員会	町内3台

③ 成人教育

【推進目標】

○人間として豊かに生き、連帯感を強め住みよい郷土づくりのための地域活動支援と多種多様なニーズに即した学習機会の提供

事業名		時期	場所	主催等	内容
1	図書館活動支援ボックス (道立図書一括貸出)	5月10日 10月8日	道立図書館	公民館	年2回一括貸出(各300冊)
2	除籍本無料配布	8月～9月	公民館	公民館	3週間開催
3	ブックフェスタ(秋の読書週間)	10月～11月	図書室ほか	公民館	特別展示コーナー 映画鑑賞会
4	ふるさと成人式及び祝賀会	1月11日	バスターミナル	教育委員会	
5	マイプラン・マイスター ディー事業	通年	公民館他	実行委員会	年間4事業程度予定
6	公民館講座	通年	公民館	公民館	各種講座開催
7	タウンスクール	通年	公民館	公民館	各種講演開催
8	下川町文化協会	通年	公民館ほか	教育委員会	13団体 活動支援
9	町民会館図書室	通年	図書室	公民館	蔵書管理・読書活動推進
10	図書室ボランティア募集	通年	図書室	公民館	事業・運営協力

④ 高齢者教育

【推進目標】

○高齢者が安心した生活を送るための学習機会の提供と地域活動参加による生きがいの創出

事業名		時 期	場 所	主催等	内 容
1	上川管内高齢者学びのつどい	9月6日	名寄市	上川教育局	上川管内23市町村による学習発表及び交流
2	四町高齢者大学交流研修会	10月16日	和寒町	4市町教育委員会	和寒町・剣淵町・名寄市風連・下川町の4市町で研修
3	高齢者作品巡回展	2月	上川北部各公民館	上川北部公民館ネットワーク	公民館ロビーにて展示
4	高齢者学級	通年	総合福祉センター他	公民館	中央、上名寄の2学級で学習活動等を実施

⑤ 生涯学習基盤整備

【推進目標】

○いつでも自由に学び、多様化、高度化するニーズに対応できる学習環境の充実のための基盤づくり

事業名		時 期	場 所	主催等	内 容
1	社会教育団体活動調査	4月～5月	教育委員会	教育委員会	
2	社会教育委員・公民館運営審議会	6月14日 9月 3月	公民館	教育委員会 公民館	年3回開催
3	視聴覚ライブラリー委員会	6月11日 3月	町民会館図書室	教育委員会	年2回開催
4	道立図書一括借受（再掲）	5月10日 10月8日	道立図書館	公民館	年2回一括借受 各300冊
5	教育の概要	12月	町内	教育委員会	関係に配布 ホームページに掲載
6	社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会	7月18日 ～19日	幌加内町	管内社会教育連合会	表彰対象者 3名
7	文化奨励賞	11月3日	町内	教育委員会	
8	図書室だより	毎月	広報	公民館	新刊案内等
9	公民館だより	通年	公区班回覧	公民館	行事案内等
10	各種ボランティア募集	通年	町内	教育委員会	キッズスクールボランティア 図書ボランティア
11	社会教育関係団体登録	通年	町内	教育委員会	活動支援、助言
12	視聴覚教材購入	通年	図書室	教育委員会	DVD等購入
13	図書購入	通年	図書室	公民館	一般書籍・児童書・雑誌購入

Ⅱ 生涯スポーツ

① 健康スポーツ

【推進目標】

○スポーツを通じた健康づくりと地域に根ざしたスポーツ振興

事業名	期間	場所	主催等	内容
1 森林環境教育「もりさんぽ」	5月～3月	五味温泉体験の森ほか	公民館	森林ウォーキング 7回
2 ちびっこプール教室 夏休みスイミング教室	7/29.7/31. 8/1.8/2. 8/5.6.7	B&G海洋センター	公民館	小学生対象
3 水中健康運動教室	7/29.8/2.8 /3.8/5	B&G海洋センター	公民館	町民一般対象（アクアビクス・水中歩行教室）
4 町民体力測定	7月5・8日 10月15日	下川小学校 スポーツセンター	公民館	小学1年生～6年生 高校生以上の町民対象
5 軽スポーツ教室	9月21日	スポーツセンター	スポーツ推進委員会	
6 スキージャンプ教室	未定	スキー場	公民館	幼児から一般
7 冬休みスキー教室	1月	スキー場	公民館	小学生対象 5回
8 スポーツ指導者講習会	7月30日	ハピネス	スポーツ推進委員会	
9 各種軽スポーツ指導	通年	スポーツセンター等	公民館	各種団体の要望対応

② 競技スポーツ

【推進目標】

○スポーツ団体との連携とノルディックスキー競技の一貫指導体制による競技力の向上

事業名	期間	場所	主催等	内容
1 第31回しもかわ万里長城 クロスカントリー大会	5月19日	桜ヶ丘公園内	教育委員会	
2 第15回万里長城パーク ゴルフ場オープン記念大会	6月2日	万里長城パーク ゴルフ場	町、公民館	
3 第11回公区対抗町民パーク ゴルフ大会	7月28日	万里長城パーク ゴルフ場	公民館	
4 第15回町長杯町民パーク ゴルフ大会	9月7日	万里長城パーク ゴルフ場	町、公民館	
5 第35回全道ノルディック スキー競技大会	12月28日	スキー場	教育委員会 下川スキー協会	
6 ジュニアノルディック スキー選手の育成強化	通年		教育委員会	専門指導員2名体制による選手強化
7 スポーツ少年団本部（再 掲）	通年	7団体	スポーツ少年 団本部	各種大会活動支援、助言等
8 下川町スポーツ協会	通年	10団体	スポーツ協会	各種大会活動支援、助言等
9 各種社会体育関係団体活 動	通年		各種社会体育 団体	各種大会活動支援、助言等

③ スポーツ基盤

【推進目標】

○生涯を通じてスポーツに親しめる環境をつくるための計画的な施設・設備の整備など基盤整備の充実

事業名		期 間	場 所	主催等	内 容
1	スポーツ奨励賞	11月3日	町内	教育委員会	
2	スポーツ推進委員会議	6月26日 9月4日 3月	公民館	教育委員会	年3回開催
3	スポーツ実技指導	通年		教育委員会	
4	学校体育館開放	通年	下川小中学校体育館・グラウンド	教育委員会	一般開放
5	指定管理者による体育施設管理	通年	スポーツセンター等	教育委員会	指定管理者による管理・運営

Ⅲ 芸術文化

① 芸術文化

【推進目標】

○創造性に富み、心豊かな芸術文化を育む地域づくり

事業名		時期	場 所	主催等	内 容
1	町民文化祭	11月2日～3日	公民館	実行委員会	芸能発表・作品展示等
2	青少年芸術劇場（再掲）	9月9日 11月22日	小学校体育館 中学校体育館	教育委員会 教育研究会 青推協	小学校：オズの魔法使い 中学校：学校寄席
3	ふれあいコンサート	11月10日	公民館大ホール	実行委員会	中村仁美民謡コンサート
4	親子劇場（再掲）	未定	児童室他	教育委員会 公民館 青推協	親子対象
5	北の星座音楽祭		公民館大ホール	実行委員会	隔年開催
6	北の星座音楽祭鑑賞バスツアー	5月9日	名寄市民文化センター EN-RAYホール	実行委員会	大谷康子 イタマール・ゴランデュ オリサイタル「魅惑のフランス音楽」
7	町民芸術文化鑑賞会	未定	公民館大ホール	実行委員会	

② 文化財の保護及び活用

【推進目標】

○地域文化を守り、郷土愛を育む文化財の保護と活用

事業名		時期	場 所	主催等	内 容
1	ふるさと交流館企画展等	5月、7月、 2月	ふるさと交流館	教育委員会	各種企画展開催
2	指定文化財保存等交付金	通年	町内	教育委員会	上名寄郷土芸能保存会
3	文化財収集整理作業	通年	ふるさと交流館	教育委員会	各種郷土資料の収集・整理・保存等

③ 文化基盤

【推進目標】

○生涯学習時代に対応した文化基盤の整備

	事業名	時期	場所	主催等	内容
1	郷土資料展示保存施設	4月26日～ 11月3日	札天山収蔵館	教育委員会	開館
2	文化財保護審議会	11月15日 未定	公民館	教育委員会	
3	ふるさと交流館ボランティア募集	通年		教育委員会	

(2) 令和元年度下川町公民館運営方針

1. 重点目標

- (1) 生涯各期における生活課題や現代的課題に対応した学習機会の提供に努める。
- (2) 生涯学習の視点に立ち、自らが自主的に学習できる環境に努める。
- (3) 生きがいくりのため、ボランティア活動の推進に努める。
- (4) スポーツの日常生活化を目指し、住民の健康増進、スポーツ愛好者の底辺拡大に努める。
- (5) 児童生徒対象に各種スポーツ教室を行い、スポーツの底辺拡大に努める。
- (6) 地域文化の創造をめざす個性豊かな芸術文化活動の推進に努める。
- (7) 地域の生活文化を創造的に高めるため、団体・サークルの育成に努める。
- (8) 様々な情報媒体を活用した広報活動による、情報の提供に努める。

2. 事業の推進

(1) 公民館活動の充実

- ① 生涯学習活動の拠点として、地域の実態に応じた特色ある活動を積極的に展開する。
- ② 生きがいのある人生を築くため、うるおいのある人づくり、地域づくりを目指す。
- ③ 公民館や各種施設の利用拡大と有効利用を図る。

(2) 学級・教室・講座等の充実

- ① 学習者の主体性が適切に発揮できるように配慮する。
- ② 様々な年齢や性別に対応した学習機会の提供に努める。
- ③ 下川町の特徴を活かした学習機会の提供に努める。
- ④ 家庭教育力向上や生活課題、現代的課題に対応した学習機会の拡充に努める。
- ⑤ 学習等の運営にあたっては、自主的、自発的な運営を推奨する。
- ⑥ 年齢や体力等、様々な運動に親しめる学習機会の拡充に努める。

(3) 地域連帯・生活文化の創造を目指す各種事業

- ① 身近な生活文化を高める諸活動を充実し、文化協会、スポーツ協会等地域関係団体と連携を図り、心の豊さを求める事業を推進する。
- ② 家庭・地域・学校との連携・協力を図り、地域で子どもを育てる意識が高まるよう努める。

(4) 町民会館図書室活動の充実

- ① 読書に親しむ生活習慣を乳幼児期から育成する。
- ② 利用しやすい図書室を目指し、書籍、視聴覚教材、図書情報の収集、託児室等の整備を図る。
- ③ 読み聞かせグループの育成や読書機会の拡充に努める。
- ④ 移動図書ステーションや読書週間の実施による利用者の拡充に努める。

(5) 自主運営グループの育成

- ① 自主企画事業に対する相談・奨励や公民館講座終了後のサークル化支援に努める。
- ② 文化、スポーツサークルの自立化を支援し、文化協会、スポーツ協会への参加を推進する。

(6) 調査・広報活動

- ① 様々な媒体を活用した広報活動を推進し、住民に情報を提供する。
- ② 公民館の運営のあり方や事業の展開方法について、地域住民の意見や要望を積極的に取り入れる。

(7) 公民館運営審議会

- ① 地域住民の動向や学習要求、地域の課題等、幅広く情報収集にあたる。
- ② 公民館が行う住民の教育、芸術及び文化向上のための各種事業企画について審議する。

(3)社会教育関係各種委員の状況

①下川町社会教育委員

下川町公民館運営審議会委員

区分	氏名	選考区分
委員長	筒 淵 忠 雄	学識経験者
副委員長	藤 弘 のぞみ	学校教育関係者
委員	堀 内 隆 功	学校教育関係者
〃	澤 田 信 夫	学校教育関係者
〃	品 地 和 彦	社会教育関係者
〃	近 藤 正 治	学識経験者
〃	名 畑 格	学識経験者
〃	瀬 川 聖 子	家庭教育関係者
〃	南 澤 さつき	家庭教育関係者
〃	森 清 次	社会教育関係者

任 期 : H30. 4. 1 ~ R2. 3. 31

③下川町文化財保護審議会委員

区分	氏名	所属等
会 長	森 清 次	無 職
副会長	名 畑 格	僧 侶
委 員	西 野 徳 義	商 業
〃	矢 箆 原 豊	無 職
〃	上ヶ島吉夫	会社員

任 期 : H29. 10. 1 ~ R2. 3. 31

②下川町スポーツ推進委員

区分	氏名	所属等
委員長	鎌 田 國 仁	野球、サッカー
副委員長	高 橋 和 之	ソフトボール
委員	津 志 田 志 保	バドミントン、水泳
〃	宮 本 桂	バスケットボール
〃	小 峰 早 智	水泳、地域スポーツ
〃	加 藤 し の ぶ	バレーボール
〃	中 嶋 崇 喜	スキー、水泳
〃	野 口 涼 太	サッカー
〃	弓 野 直 美	テニス、地域スポーツ
〃	山 田 奨	柔道
〃	伊 藤 瑛 理 佳	バレーボール
〃	遠 藤 和 之	スキージャンプ

任 期 : H30. 4. 1 ~ R2. 3. 31

④下川町視聴覚ライブラリー委員

区分	氏名	所属等
会 長	川 島 里 美	会社員
副会長	塚 辺 礼 奈	主婦
委 員	田 中 美 樹	主婦
〃	加 藤 達 也	会社員
〃	奥 崎 裕 子	主婦
〃	佐 藤 飛 鳥	会社員
〃	牧 野 勝 行	会社員
〃	近 田 泰 生	下川商業高校教諭
〃	鶴 田 翔	下川中学校教諭
〃	蔵 本 恵 香	下川小学校教諭

任 期 : H30. 4. 1 ~ R2. 3. 31

(4) 令和元年度 社会教育関係団体の状況

①各種団体連合会等

名 称	代表者名	事務局長名	会 員 数
下川町父母と先生の会連合会	梶澤 俊介	稲本 雄一	189
下川町文化協会	武藤 登	杉之下 正樹	195
下川町子ども会育成連絡協議会	野崎 愛美	教育委員会教育課	218
下川町スポーツ協会	蓑谷 春之	栗原 一清	252
下川町青少年健全育成推進協議会	松野尾 道雄	今井 真司	35
計	5団体		889

②下川町父母と先生の会連合会

会 長	梶澤 俊介	事務局長	稲本 雄一
副会長	奈須 憲一郎	庶 務	川邊 宏司
〃	藤 弘 のぞみ	会 計	伊藤 敏光

加盟PTA団体

名 称	代 表 者	会 員 数	備 考
下川小学校PTA	梶澤 俊介	130	
下川中学校PTA	奈須 憲一郎	91	
計	2団体	221	

1)下川町文化協会

会 長	武藤 登	事務局長	杉之下 正樹
副会長	森 清次	会 計	杉之下 正樹
〃	武藤 久志		

加盟文化サークル

区 分	サークル名	代 表 者	事務局名	会 員 数
絵 画	下川柏葉会	萬比呂比古	多田 淳浩	13
木 工 芸	工房北創	倉橋三千雄	安藤 勇	9
書 道	下川書道愛好会	千葉 則男	千葉 則男	9
詩 吟	日本詩吟学院岳風会下川支部	小林清一郎	武藤 登	8
舞 踊	上名寄郷土芸能保存会	黒川 仁一	黒川 仁一	42
大 正 琴	下川大正琴愛好会	佐々木光子	木村 玉江	11
民 謡	下川成友会	小田切一逸	三賀 定喜	6

歌 謡	下川歌謡研究会	蓑谷 常夫	武藤 久志	2 2
歌 謡	下川カラオケ愛好会	関谷 芳秀	関谷 芳秀	1 3
陶 芸	下川陶芸愛好会竜胆	岡崎 哲子	道原嘉津子	1 3
囲 碁	下川囲碁同好会	梅坪 龍雄	河端 正敏	1 6
太 鼓	下川溪流太鼓	矢内 辰二	押田すみえ	2 1
写 真	ニッコールクラブ道北支部下川	森 清次	森 清次	1 0
計	1 3 団体			1 9 3

3)子ども会育成連絡協議会

会 長 野 崎 愛 美 事務局 下川町教育委員会教育課
副会長 水 間 麗 莉

加盟子ども会

区 域 名	名 称	子 ども 育 成 会		子 供 会 会 員 数	合 計 会 員 数
		会 長 名	会 員 数		
上名寄	上名寄連合子供会	水 間 麗 莉	14	12	26
中成北・元町公区	中成北・元町子ども会	野 崎 愛 美	3	25	28
中成南公区	中成南子ども会	高 原 友 美	3	36	39
北町・幸町・共栄町公区	北町・幸町・共栄町子ども会	西 郷 百 合	2	15	17
錦町公区	錦町公区子ども会	板 橋 亜 矢	2	26	28
旭町公区	旭町あけぼの子供会	南 澤 さ つ き	2	20	22
緑町・三和・一の橋・二の橋公区	緑町・ひふみ橋子供会	藤 原 旬 甫	0	23	23
末広公区	末広青空子ども会	渡 辺 亜 弥	4	51	55
新町・班溪公区	新町・班溪子ども会	佐 川 な つ み	6	10	16
	9 団体		36	218	254

4)下川町スポーツ協会

会 長 蓑 谷 春 之 事 務 局 長 栗 原 一 清
副会長 仁 木 茂 則 事 務 局 次 長 伊 藤 克 彦

加盟体育団体

種 目	団 体 名	会 長	事 務 局 長	会 員 数
卓 球	下川卓球協会	水間 則之	水間由美子	13
野 球	下川軟式野球連盟	森 茂	塩田 晃久	31
柔 道	下川柔道連盟	杉之下 悟	南澤 茂	14
剣 道	下川剣道連盟	武藤 登	小原美紀子	9
山 岳	下川山岳会	加集 賢一	堀北 忠克	41
ソ フ ト テ ニ ス	下川ソフトテニス協会	市村 茂雄	弓野 直美	14
ス キ ー	下川スキー協会	押田 真	堀北 忠克	18
バ ド ミ ン ト ン	下川バドミントンクラブ	仁木 茂則	仁木 茂則	17
パ ー ク ゴ ル フ	下川町パークゴルフ協会	伊東 時晴	武藤 久志	83
ス ポ ー ツ ク ラ イ ミ ン グ	下川スポーツクライミングクラブ	苅谷 勝利	斎藤 丈寛	27
計	10団体			267

5)下川町スポーツ少年団本部

本 部 長 蓑 谷 春 之 事 務 局 栗 原 一 清

加盟スポーツ少年団

種 目	団 体 名	少年団		後援会・育成会		合 計 人 数
		団 長 名	団 員 数	会 長 名	会 員 数	
剣 道	下川剣道スポーツ少年団	江口 莉都	19	江口 正裕	14	33
柔 道	下川柔道スポーツ少年団	鴨田 颯人	15	鴨田美由紀	18	33
野 球	下川野球少年団	山本 洗輝	12	澤谷 伸一	9	21
ス キ ー	下川ジャンプ少年団	松本 晃典	16	津志田 大	26	42
サ ッ カ ー	下川サッカー少年団	更谷 奏斗	20	山 中 真 弓	13	33
計	5団体		82		80	162

②その他社会教育関係団体

名 称	代 表 者	事務局名	会 員 数
シルバーアートの会	末 武 久 恵	本 田 久 美	7
下川自然を考える会	桑 原 友 一	早 田 史 朗	30
下川英会話愛好会	日 野 昭 雄	山 下 節 子	6
下川ジャンプスキー選手後援会	蓑 谷 春 之	堀 北 忠 克	191
下川商業高等学校PTA	御 家 瀬 大	鎌 本 光 司	84
NPO 法人森の生活	麻 生 翼	児 玉 こ ず え	31
Join The Heart	富 岡 達 彦	我 孫 子 洋 昌	24
下川木彫匠会	遠 藤 里 美	遠 藤 里 美	4
子育てクラブカナカナ	瀬 川 聖 子	瀬 川 聖 子	15
こども運動サークル「しもかわっこ」	津 志 田 志 保	矢 内 千 枝	19
下川スキーパトロール奉仕団	押 田 真	横 井 雅 江	9
下川軽スポーツ愛好会	加 集 賢 一	荒 井 正 春	21
ステップアップ	千 葉 真 由 美	竹 本 礼 子	14
下川インドアゴルフ愛好会	西 島 勲	矢 島 信 義	33
下川クロスカントリースキー少年団	加 藤 準	加 藤 準	4
計	15団体		492

(5)下川町の文化財

◎無形文化財第1号 「上名寄郷土芸能」

(麦や節・郡上節・こだいじん)

- ・指定年月日 昭和39年10月14日
- ・伝承者 上名寄郷土芸能保存会
(会長 黒川 仁一)

・伝承経過

明治34年に岐阜県郡上郡高鷲村(現郡上市)から上名寄地区に入植した開拓者が、開拓の苦しみの中で故郷を偲び、唄い踊られ今日まで伝えられてきたものである。

昭和39年9月6日に、これを永く後世に残すため保存会が発足し、以来保存に努め現在にいたっている。

・発祥地

「麦や節」富山県五箇山(富山県東砺波郡)

「郡上節」岐阜県郡上市

「こだいじん」富山県五箇山(富山県東砺波郡)

・由来

・麦や節… 五箇山は平家の落人が身をしのばせたところといわれ、歌詞の中にもなにかしら人目をはばかる落武者の心情をうたわれている感があるところから、平家踊りとも言われる。

・郡上節… 郡上踊りともいい、郡上郡八幡町(現郡上市)の盆踊りの唄である。八幡町は長良川の上流盆地にある旧青山氏4万8千石の城下町で、青山氏は官民和合のために盆踊りを奨励したが、それがこの踊りの始まりといわれている。

・こだいじん… 富山県五箇山には数多くの民謡が温存されており、その中にこだいじんとして仕事をしながら気やすく唄われ、踊られたものと伝えられている。

◎天然記念物第1号 「はるにれ」

- ・所在地 下川町西町40番地(小学校校庭)
- ・指定年月日 昭和39年10月14日
- ・管理者 下川小学校
- ・由来

樹齢約830年(直径約136cm、樹高約23m)と推計され、下川簡易教育所(明治40年12月建設)の前に切り残されたもので、現在町立下川小学校校舎前にそびえている。

昭和43年9月に北海道100年記念事業の名木・美林の選定にも名木として選定された。

さらに、昭和49年3月30日付で、北海道自然保護条例に基づき、下川小学校開校記念保護木としても指定されている。

◎天然記念物第2号 「下川鳴る石」

- ・所在地 下川町珊瑚
(国有林下川事業区34林班)

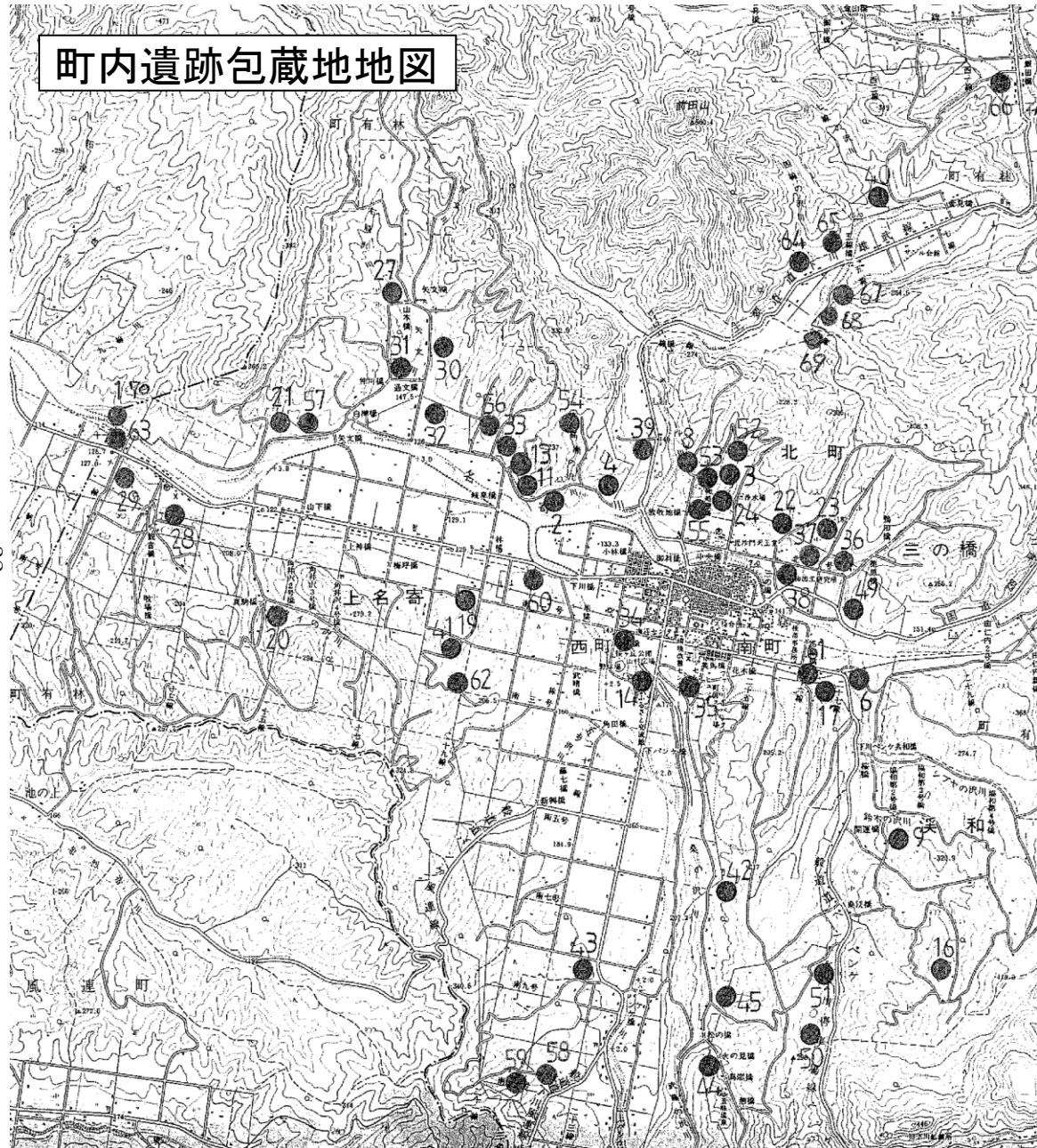
・指定年月日 昭和57年12月10日

・管理者 上川北部森林管理署

・由来

新第三紀中新世紀(2,500万年前~1,000万年前)の火山噴火物で、サンル溶岩といわれる流紋岩の球礫であって、直径が数ミリメートルから数センチメートルのものが多く、手にとって振ると「サラサラ」と音を発する。空洞内に晶出している石英が剥離して音を出す。

町内遺跡包蔵地地図



No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
1	上名寄チャシ跡	11	北町C遺跡	21	矢文1遺跡
2	佐藤遺跡	12	シカリベツ遺跡	22	北町高原遺跡
3	北町遺跡	13	川向遺跡	23	北町伊藤遺跡
4	高瀬遺跡	14	桜ヶ丘遺跡	24	浄水場下遺跡
5	モサナル遺跡	15	二の橋2遺跡	25	松岡遺跡
6	浅野遺跡	16	溪和遺跡	26	幸成2遺跡
7	二の橋遺跡	17	三の橋遺跡	27	矢文2遺跡
8	北町B遺跡	18	ルベA遺跡	28	上名寄1遺跡
9	ペンケ遺跡	19	上ヶ島遺跡	29	上名寄2遺跡
10	幸成遺跡	20	武石遺跡	30	矢文3遺跡

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
31	矢文4遺跡	46	幸成3遺跡	61	三の橋5遺跡
32	矢文5遺跡	47	二の橋3遺跡	62	上名寄6遺跡
33	川向2遺跡	48	二の橋4遺跡	63	上名寄7遺跡
34	桜ヶ丘A遺跡	49	三の橋4遺跡	64	前サナル1遺跡
35	南町遺跡	50	ペンケ2遺跡	65	前サナル2遺跡
36	三の橋2遺跡	51	ペンケ3遺跡	66	サナル11線遺跡
37	三の橋3遺跡	52	北町F遺跡	67	サナル5線遺跡
38	北町D遺跡	53	北町G遺跡	68	サナル4線遺跡
39	北町E遺跡	54	北町H遺跡	69	北町J遺跡
40	珊瑚川向遺跡	55	北町I遺跡	70	上名寄8遺跡
41	上名寄3遺跡	56	上名寄4遺跡		
42	桑の沢1遺跡	57	上名寄5遺跡		
43	班溪1遺跡	58	班溪2遺跡		
44	桑の沢2遺跡	59	班溪3遺跡		
45	桑の沢3遺跡	60	西町1遺跡		

(6)下川町社会教育関係表彰状況

①旧表彰規則による表彰者

年度	区分	受賞者名
昭和 32	教	安藤 操
昭和 33	教	土屋直太郎
昭和 34	教	村上 美代
昭和 38	教	伊東 美勝 佐藤 富喜
昭和 39	文	井上 文山 下川 柏葉会
	ス	村上 良雄 石川 政勝
昭和 40	教	平 恵美
	文	大山 泉雪
昭和 50	教	柴田 英一
昭和 53	教	窪田 銀治 佐藤 定行
	文	稲村 頌山
昭和 56	ス	佐々木 周一 石川 政勝

※教：教育文化功績表彰、文：文化賞、
ス：スポーツ賞

②下川町文化賞

年度	受賞者名	備 考
昭和 57	佐藤 定行	文化協会長
	狭布里 哲也	体育協会長、柔道連盟、スキー協会設立
昭和 58	山口 昂	学校医として健康づくり
	石川 政勝	剣道
昭和 60	井上 キミエ	茶道、華道
平成元	川原 悠山	尺八・音楽振興
	上名寄郷土保存会	保存・伝承
平成 7	中内 伊勢吉	文化財
平成 13	谷 静子	茶道
平成 14	本田 榮太郎	文化協会長
平成 16	文梨 政幸	詩作
平成 20	西野 徳義	写真
平成 28	田端 英雄	書道
平成 30	武藤 ミエ	短歌

③下川町特別町民栄誉賞

年度	受賞者名	備 考
平成 26	葛西 紀明	ソチ冬季オリンピックスキージャンプ個人ラージヒル銀メダル、団体銅メダル

④下川町町民栄誉賞

年度	受賞者名	備 考
平成 7	岡部 孝信	'95 ノルディックスキー世界選手権サンダーベイ大会ジャンプノーマルヒル個人金メダル、団体銅メダル
平成 14	葛西 紀明	アルベールビル・リレハンメル・長野・ソルトレーク冬季オリンピックスキージャンプ 4 大会連続出場
平成 26	伊東 大貴	ソチ冬期オリンピックスキージャンプ団体銅メダル
平成 27	伊藤 有希	'15 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ個人戦銀メダル、ジャンプ混合団体銅メダル

⑤下川町特別スポーツ功労賞

年度	受賞者名	備 考
平成 18	岡部 孝信	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ団体第 6 位、ラージヒル第 8 位
	葛西 紀明	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ団体第 6 位、冬季オリンピック 5 大会連続出場
平成 19	岡部 孝信	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会スキージャンプ団体銅メダル
	葛西 紀明	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会スキージャンプ団体銅メダル
平成 21	岡部 孝信	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ団体銅メダル
	葛西 紀明	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ団体銅メダル
	伊東 大貴	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ団体銅メダル
平成 22	岡部 孝信	バンクーバー冬季オリンピック日本選手団主将を務める。

平成 22	葛西 紀明	バンクーバー冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第5位、個人第8位、冬季オリンピック6大会連続出場
	伊東 大貴	バンクーバー冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第5位
平成 27	葛西 紀明	'15 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ混合団体銅メダル
平成 28	葛西 紀明	スキーワールドカップ通算 500 試合参戦
平成 29	葛西 紀明	世界選手権最多・最年長出場、ワールドカップ最年長表彰台
	伊東 大貴	'17 ノルデックスキー世界選手権ラハティ大会ジャンプ混合団体銅メダル
	伊藤 有希	'17 ノルデックスキー世界選手権ラハティ大会ジャンプ女子ノーマルヒル銀メダル、混合団体銅メダル
平成 30	葛西 紀明	平昌冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第6位、冬季オリンピック最多 8 大会連続出場、ワールドカップ最多出場
	伊東 大貴	平昌冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第6位、冬季オリンピック 4 大会連続出場
令和 1	葛西 紀明	スキーワールドカップ最年長及び最多出場 566 試合
	伊東 大貴	'19 ノルディックスキー世界選手権大会ジャンプ団体銅メダル

⑥下川町スポーツ功労賞

年度	受賞者名	備考
平成 10	岡部 孝信	長野冬季オリンピックスキージャンプ団体金メダル、ラージヒル第6位
平成 30	伊藤 有希	平昌冬季オリンピックオリンピックスキージャンプノーマルヒル第9位、冬季オリンピック2大会連続出場、ワールドカップ表彰台3回
令和 1	伊藤 有希	'19 ノルディックスキー世界選手権大会ジャンプ団体第6位、男女混合団体第5位

⑦下川町特別スポーツ栄誉賞

年度	受賞者名	備考
平成 10	葛西 紀明	長野冬季オリンピックスキージャンプノーマルヒル第7位
平成 19	伊東 大貴	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会ジャンプ団体銅メダル
平成 22	加藤 大平	バンクーバー冬季オリンピックオリンピックスキージャンプコンバインド団体第6位
平成 26	伊藤 有希	ソチ冬季オリンピックスキージャンプ女子ノーマルヒル7位

⑧下川町スポーツ栄誉賞

年度	受賞者名	備考
平成 5	岡部 孝信	リレハンメル冬季オリンピックスキージャンプ団体銀メダル、ラージヒル第4位
	葛西 紀明	リレハンメル冬季オリンピックスキージャンプ団体銀メダル、ノーマルヒル第5位
平成 18	伊東 大貴	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ団体第6位
平成 19	伊藤 謙司郎	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会ジャンプ代表選手
平成 21	加藤 大平	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプコンバインド団体金メダル

平成 25	伊東 大貴	'13 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ混合団体金メダル
	伊藤 有希	'13 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ混合団体金メダル

⑨下川町スポーツ貢献賞

年度	受賞者名	備考
平成 7	伊藤 直人	'95 ノルディックスキー世界選手権サンダーベイ大会ジャンプ代表選手
平成 18	伊藤 謙司郎	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ最年少代表選手
平成 18	伊藤 有希	'07 コンチネンタルカップレディース 札幌大会スキージャンプ銅メダル
平成 21	伊藤 有希	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ競技に冬季種目最年少選手として出場
平成 29	伊藤 将充	'17ジュニア世界選手権アメリカ大会男女混合団体銅メダル
	瀬川 芙美佳	'17ジュニア世界選手権アメリカ大会男女混合団体銅メダル

⑩下川町文化奨励賞

年度	受賞者名	備考
昭和 47	稲村 頌山	邦楽 (尺八)
昭和 53	田宮 冠雪	書道
昭和 58	すえひろ会	民謡舞踊
	谷 静子	茶道
	西野 徳義	写真
	文梨 政幸	詩作
昭和 60	林 金雄	短歌
	日野 昭雄	写真
	佐藤 宏彦	美術
昭和 61	佐藤 久子	華道
昭和 62	谷口 富子	短歌
昭和 63	本田 榮太郎	絵画
平成 2	佐藤 きよ子	華道
	中内 伊勢吉	文化財
平成 3	高島 菊次	木彫
平成 6	武藤 美枝	短歌
	林 貞子	婦人団体育成
平成 9	小林 清一郎	詩吟
	前田 一	社交ダンス・邦楽

平成 10	小原 義夫	木工芸
平成 11	古屋 恵美子	郷土芸能
	神田 久	民謡
平成 12	栗原 導子	三味線
	伊藤 ノエ	詩吟
平成 15	川岡 政喜	詩吟
	宮田 由三	カラオケ
平成 16	都 要	カラオケ
平成 17	及川 幸雄	絵画
	押田 キヨミ	短歌
平成 19	尾藤 テル子	民謡・三味線
平成 20	三賀 定喜	民謡・三味線
平成 21	武藤 登	詩吟
	児玉 光	チェンソーアート
平成 22	市村 桂子	絵画
平成 24	倉橋 三千雄	木工芸
	柳澤 美晴	短歌
平成 25	高山 トミ子	短歌
平成 26	金子 淑子	書道
平成 27	西村 道子	絵画
平成 28	千葉 芳男	歌謡
	藤原 重雄	歌謡
平成 30	西野 道子	茶道
令和 1	鈴木 牛後	俳句
	平間 柊	簿記コンクール

⑪下川町スポーツ奨励賞

年度	受賞者名	備考
昭和 45	山川 久四郎	スキー
	西崎 信光	卓球
昭和 47	藤原 喜代蔵	相撲
	三菱金属鉱業所庭球部	庭球
昭和 57	大西 義信	相撲
	藤木 豊	相撲
	藤原 一行	相撲
	安澤 雄吉	相撲
	田中 良一	相撲
	稲森 芳春	相撲
	苅谷 勝利	登山
	遠藤 幸枝	陸上
	西野 道子	陸上
	伊東 時晴	スキー
昭和 58	西村 儀男	野球
	森 茂	野球
	小南 力蔵	陸上
	猪股 俊孝	柔道
昭和 59	武藤 登	剣道
	今 ひろ子	陸上

昭和 60	伊藤 克彦	スキー
	佐々木 孝元	スキー
	伊藤 直人	スキー
	岡部 孝信	スキー
昭和 61	渡辺 清	野球
	寺澤 義晴	卓球
	山下 邦廣	柔道
	小原 強	剣道
昭和 62	前田 一	野球
	杉之下 悟	柔道
	金澤 博	登山
	森 義幸	スノーモービル
昭和 63	葛西 紀明	スキー
	豊福 九州男	剣道
	佐藤 実	バレーボール
	阿部 正司	スキー
平成元	高原 大	柔道
	吉田 伸男	陸上
	遠藤 和之	少林寺拳法
	下川ゲート ボール協会	ゲートボール
平成 2	葦谷 秀之	スキー
	北村 洋司	スキー
	山崎 克也	スキー
	白川 索	スキー
	安澤 豊	スキー
平成 3	小原 幸	陸上
	中西 日出男	地域スポーツ
	葦谷 春之	スキー
	小林 弘見	スキー
平成 4	岡部 弘	スキー
	堺 修一	地域スポーツ
	西島 勲	地域スポーツ
	葦谷 富之	ゲートボール
平成 5	伊藤 恒	スキー
	佐原 裕	スキー
	岡村 知博	スキー
平成 6	布施 昇	スキー
	藤木 聡	庭球
平成 7	遠藤 清	ソフトボール
	葦谷 省吾	スキー
	山本 三喜男	ソフトボール
平成 8	佐藤 正義	登山
	高沼 秀雄	柔道
	三島 満江	陸上
平成 9	道原 幸雄	卓球
	山本 博隆	地域スポーツ
	津川 博美	野球
	川島 光義	陸上競技

平成 11	渋谷 敬吉	スキー
	石川 征男	スキー
	西村 道子	スキー
	亀田 正友	パークゴルフ
	日下 伸子	卓球
平成 15	道原 伸也	バレーボール
	山本 弘明	ソフトボール
	加茂 清	登山
	野崎 政一	ソフトボール
平成 19	池田 勉	軟式野球
	福田 勝芳	軟式野球
平成 23	加藤 貢	ソフトボール
	加集 賢一	登山
平成 25	小原 美紀子	剣道
	南澤 茂	柔道
平成 27	加藤 準	陸上
平成 28	神田 邦枝	パークゴルフ
	杉之下美津子	パークゴルフ
	伊井 弘	パークゴルフ
平成 29	勢藤 理桜	スキー
	鴨田 鮎華	スキー
	伊藤 浅子	剣道
令和 1	久末 雅輝	フットサル
	松岡 陽奈	剣道
	江口 莉都	剣道
	宍戸 仁美	剣道
	堀川 結衣	剣道
	松岡 杏奈	剣道
	佐藤 希愛	剣道
	木幡 斗吾	柔道
	鴨田 颯人	柔道
	駒津 太珂	トランポリン